



陽光下 天孫神社の桜舞台(大津市京町)



鳴の湖

第24号

【発行】
滋賀県更生保護女性連盟



更女は、地域を守る確かな力なり



滋賀県更生保護女性連盟

会長 上路 美智代

草花が芽吹き、春の訪れを感じる季節となりました。皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

「おはよう。気いつけて行きや。」
Yさんの声が響きます。もちろん、午後も「お帰り！」と聞こえてきます。Yさんは、隣の自治会にお住まいの会員さん。ご高齢になられたことと体の都合で研修会などへの参加は難しくなりました。でも、活動から離れられたわけではありません。通学時間に合わせ、通学路沿いの畑に出て、挨拶と見守り続けておられ「私にできるのはこれだけ」と語られます。

昨年の6月10日に東京で開催された日更女の集いで、東京未来大学副学長の出口康之氏から「万人の犯罪者分析から学ぶ防犯」の講演を拝聴しました。以前の「守る防犯」から「犯罪者化させない、攻める防犯」へと変わってきている

とのこと。犯罪者に「やりにくい」「顔を覚えられたくない」と感じさせることで犯罪を未然に防ぐことができるのです。

前述のYさんの挨拶と見守りは、子どもたちを守ろうとの活動だったのですが、実は攻める防犯にもなっていたのです。また、買い物や散歩、ウォーキングのついでに見守るといふ「ながら見守り」も同様、誰でも、いつでも、無理なくできる攻める防犯活動です。私たちも日々、心がけていきたいものです。

また、生きづらさを抱えた人たちに對しても、一人ひとりができる形で寄り添い、見守る活動を忘れてはならないと思います。

更生保護女性会の活動は、地味で目立たないと言われがちですが、地域を守る確かな力であることに間違いありません。誇りをもって取り組んでいきましょう。皆様、どうぞよろしくお願いたします。

隣人の活動に学ぶ



大津保護観察所長
西崎 勝則

私が更生保護の世界に飛び込んでから三十年余り、事務官、地区担当の保護観察官、更生保護女性会の担当官、統括保護観察官、企画調整課長、そして所長と、各地の保護観察所を経験してまいりましたが、私の更生保護の経験のそばに、常に、地域で生き生きと活躍をされる更生保護女性会の皆様の姿がありました。

例えば、模擬ケース検討会（一般公開ケース研究会）に來られた地域の方々に更生保護の心を伝える会員さん、ミニ集會に來た子育て中のお母さんの悩みに耳を傾ける会員さん、生きづらさを抱えた子どもたちのために子ども食堂を展開している会員さん、小学校の旧校舎の教室を借りて古着や不用品のシェアイベントを続けている会員さん、更生保護施設が開く料理教室で寮生に料理の仕方を教えたり、料理を作って母の味を提供する会員さん・・・。

これらはすべて、滋賀県内を含めた各地区の活動で、そのどれもが、犯罪や非行のない明るい地域社会づくりのための素晴らしい活動で、心から楽しみながらされています。

ただ、惜しむらくは、私が勤務したどの保護観察所でも、「どのように活動したらよいか分からない」「など」と嘆いている地区会や会員さんが実に多いのです。

さて、県更女連盟では、県下各地区を四つのブロックに分け、各地区持ち回りで「ブロック研究協議会」を開催し、女性会活動の充実を図っておられます。

私も四ブロック全ての研修会に参加いたしましたが、講義を聴くことで、当面の諸課題を知ることができ、それを踏まえた議論がされるとともに、各地区の特色ある活動が紹介され、「研究して協議する」場として、大変参考になりました。

「どのように活動したらよいか分からない」と悩む皆様、その答えは、意外にすぐ近くにあるかもしれません。

ブロック研究協議会を「隣人の活動に学ぶ」場として、大いに活用してはいかがでしょうか。



更生保護事業関係者顕彰式典

令和7年10月23日（木）ピアザ淡海にて、更生保護事業関係者顕彰式典がありました。はじめに、少年犯罪被害当事者の会の武るり子氏と一井彩子氏による「犯罪被害者の思いに応える更生保護の実現のために」犯罪被害者の声を聴く」の講演をお聴きしました。

その後、更生保護事業に功績のあった方々に各種表彰状や感謝状・記念品の授与伝達が行われました。更女からは、93名が表彰されました。今後一層のご活躍を祈念いたします。

受彰式の様子



講演の様子

受彰おめでとうございます

法務大臣感謝状

古川ゆみ子 (大津地区)
上路美智代 (守山地区)
中野喜美子 (日野地区)

日本更生保護女性連盟
理事長表彰

福井 昌子 (草津地区)
林 ハクエ (栗東地区)
齋木 久子 (野洲地区)
松井 和子 (甲賀地区)
中江 初子 (近江八幡地区)
村田せつ子 (東近江地区)
美濃部眞弓 (長浜地区)

再犯防止民間協力者

滋賀県知事感謝状

岡田伊都子 (高島地区)
東 聰 (野洲地区)
井上 美江 (近江八幡地区)
山本 政子 (彦根地区)
近藤 洋子 (米原地区)

敬称略

法務大臣感謝状を受彰して

日野地区 中野 喜美子

この度、「法務大臣感謝状」を賜り、大変光栄に思っております。35年間の更生保護活動は、未来を切り開くための重要な取り組みだと信じています。厳しい環境の中でも、生きづらさを抱えた人たちに寄り添い、声に耳を傾けることが何より大切だと思います。これからも会員様と一緒に更生保護活動に励みたいと思います。



日本更生保護女性連盟
理事長表彰を受彰して

甲賀地区 松井 和子

6月10日、アルカディア市ヶ谷私学会館において、第62回「日本更生保護女性の集い」が開催され、その席上で日本更生保護女性連盟理事長表彰をいただきました。皆様のご支援、ご協

力のおかげと深く感謝申し上げます。

これからも地域に根ざした更生保護ボランティアとしての活動を続けてまいります。

再犯防止民間協力者
滋賀県知事感謝状を受彰して

高島地区 岡田 伊都子

二十数年前に更生保護女性会に入会し、挨拶運動、子どもの見守り活動、学校訪問などいろいろな活動に参加しました。「おはよう」「お帰り」と声をかけても無視をする子、笑顔でぺこりの子など様々でした。近年は、支部の研修会に数回参加する程度で感謝状をいただくのは、恐縮の限りです。ありがとうございました。



法務大臣感謝状・日更女理事長表彰

「第1ブロック研究協議会」

開催日：令和7年9月17日（水）

場 所：大津びわ湖合同庁舎1階共用会議室

講 師：大津更生保護協力雇用主会会長 小田桐重孝氏



今年の第1ブロック研究協議会は、文字通り協議会として私たちのできることに向けて、検討する機会となりました。更生保護協力雇用主会の名前を初めて耳にした方が多いと思います。「就労と居場所」と題しての実働のお話は大変心打たれました。寂しさ、借金苦、障がい、対話不能などいろいろな事情の中、生きづらさに寄り添い居場所を提供され、信じ支え続ける企業団体と連携し、意見を交換しながら更生への手伝いが出来たらと思いました。

高島地区の活動発表は、若い会員の方が学校を活動拠点にされている内容でした。解放された学校が少ない状況の中、私たちが挑戦したいと思いました。



大津地区の活動発表は、料理経験がない一人の要望から始まった「ふれあい料理教室」です。継続することによって三方よしの広がりや繋がりとなり、再犯防止に大きな役割となっています。スタッフの皆さんの丁寧な準備と振り返りを大切にされ、常に周囲から学ぶ姿勢はどの活動にも通じるものです。実りある研究協議会となりました。

大津地区会長 増淵 昭子

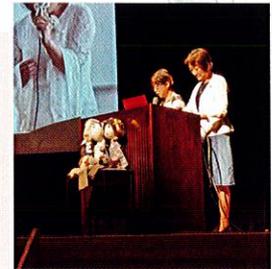
研究協議会

「第2ブロック研究協議会」

開催日：令和7年9月19日（金）

場 所：甲賀市碧水ホール

講 師：大津保護観察所所長 西崎勝則氏



甲賀市岩永裕貴市長より、子ども達の犯罪を未然に防ぐ更生保護女性会の活動は、地域の子も達を育てる素晴らしい取組みであるとの挨拶をいただきました。

大津保護観察所の西崎勝則所長による「湖国の更女、ここにあり」と題しての講演では、更生保護の始まりの歴史を知り、私達の活動の重さを感じ取りました。今までの地域に根ざした活動が、地域の更生に繋がっているのだと確信できました。

守山市の実践発表「より良いつながりを大切に取る更女活動」では、子ども達の見守りや支援活動は、私達の大切な活動であることを再確認させていただきました。今後の課題も見えてきて、時代に即した更女活動を考えていかなければならないと考えさせられました。

シンガーソングライター-yokkoさんの講演ライブでは、手話で通じ合える楽しさを知りました。思い込みという壁を取り除き、いつも笑顔で活動に取り組むことが、自分たちの楽しみに繋がっていくといいなと思いました。

6市の会員330人が一堂に集まり、他の市の会員の活動を知り、出会った会員同士が声を掛け合い、笑顔あふれる和やかな研究協議会を開催できました。今回の研究協議会のテーマ「笑顔で楽しい更女活動」を今後も続けていきたいと思ひます。

甲賀地区会長 渡邊 満栄

「第3ブロック研究協議会」

開催日：令和7年9月10日(水)

場所：ひこね市文化プラザ エコーホール

講師：滋賀県スクールソーシャルワーカー 鈴木修一氏



迫力のある太鼓の響きで開幕です。

滋賀県スクールソーシャルワーカー鈴木修一氏から「今どきの子供たちの理解—その背景にあるものを探る—」と題して講演をいただきました。「ほめる子育て」等、今までは良かれと思ってしてきた行動や態度に意



外な落とし穴があったとは！子どもたちはやる気が萎えてしまい、挑戦する意欲まで失ってしまっていて、今どきの子どもと関わる際は「自分にとっての普通」を持ち込まないこと、大切なのは手立てよりも関わる姿勢や自覚が重要であるとのことでした。

「真剣な表情で聴いていただき嬉しかった」と講師の先生からお言葉をいただき、皆さんと共に学びあえてよかったと思います。この研修を糧に、これからの活動に繋げていきたいと思っています。

彦根地区会長 杉原 敏子

令和7年度 ブロック別

「第4ブロック研究協議会」

開催日：令和7年9月12日(金)

場所：近江学びあいステーション

講師：元中学校長 富田正孝氏



今年度の研究協議会は、残暑厳しい中でしたが、147名の参加のもと開催できました。

まず、元中学校長の富田正孝氏に「ほんとうの幸せ」という演題でご講演をいただきました。やなせたかしさん作詞の「手のひらを太陽に」や金子みすゞさんの「私と小鳥と鈴と」の詩から、生命の大切さ、生きる意味などについて改めて自分に問いかけ直す示唆をいただきました。



次に、長浜・米原地区からそれぞれ2分区の活動報告を行いました。各分区とも、地域の実態に合わせた活動を工夫しておられ、今後の取り組みに大いに参考になりました。最後にスギヤマカナコ氏の絵本『うたうもたろう』を「大いに歌ってください」というエールを力に、全員で合唱しました。この協議会で学んだことを今後の活動に生かしていきたいと思っています。

米原地区会長 山本 百合子

リーダー研修会に参加して

東近江地区 村井 しげ子

5月27日に実施された研修会の初めに、今年度より「一般公開ケース研究会」を「模擬ケース検討会」に名称変更されたことが報告されました。テーマは「Time with Hope」(進む希望と共に)です。その後、グループ別の協議会・各分区の取り組みについて交流しました。ミニ集会や、学校・コミュニティセンター等に出向き、地域のいろいろな方に更女活動を知ってもらう事例や「日めくりカレンダー」の活用など努力されている事例も聴きました。会員の減少など各分区ともに共通課題となっているのが、地域の中で何が必要とされているのか、自分たちの出番は何か、積極的に取り組んでおられることに感じました。



大津保護観察所課長の杉本氏の講評で「更女は、おせっかいおばさん養成講座である。更生保護という言葉で縛られなくてよいのではないか」との話が印象に残りました。おばさんの発信力は

独自のネットワークを持つているとのこと。地域で、どう発信するかで地域が変わっていくということも聞き、今年のテーマのように前向きに進むためにプラスに発信する力を学んでいきたいと思いました。

近畿更生保護女性連盟 結成60周年記念大会に参加して

長浜地区 高橋 律子

10月1日、近畿更生保護女性連盟結成60周年記念大会が大阪の京阪京橋グランドで行われました。近畿更生保護女性連盟会長式辞のあと、一般社団法人日本更生保護女性連盟理事長のご祝辞をいただきました。また、長年各地域で更女会員として更生保護活動にご尽力された方々に近畿地方更生保護委員会委員長感謝状・近畿更生保護女性連盟会長表彰が授与されました。表彰を受けられた方々に心から敬意を表したいと思いました。

その後、芸術鑑賞として、落語家「桂福団治師匠」の手



話落語・親子の人権落語などを聴き楽しいひと時を過ごしました。

令和8年度の「近畿更生保護女性会員研究協議会」は、滋賀県で開催されます。近畿の更女の皆さまを気持ちよく迎え、有意義な研究協議会となるよう準備を進めて行きます。

日本更生保護女性連盟 中央研修会に参加して

栗東地区 田村 由美子



10月23日、東京アルカディアア市ヶ谷私学会館で開催された中央研修に参加しました。一人での参加だったので不安はありましたが、同じ目的を持った方々の研修だったので、すぐに打ち解け、有意義な研修となりました。

「反省は一人でもできるけれど、更生は一人では難しい。更生に携わる方々の協力が必要」と千葉県子理事長の講話の後、グループディスカッションで、各地区の活動や課題を話し合いました。

いろいろな活動を聴く中に、更生保護女性会の認知、会員活動の



充実、新会員の確保等の解決の糸口がありました。研修を受けて、自分の成長とともに、行動に移すことが大切だと、グループワークの最後に皆と確認をして、それぞれの都道府県への帰路につきましました。

新会員研修会に参加して

守山地区 木村 好子

更生保護女性会って何の会？って聞いたのが私の最初の思いでした。それくらい無知でした。今回研修会に参加して、勉強させて頂きしっかりと考えていかなければならないと感じました。

テレビのニュースを見てもどこか他人事でしょうかりと受け止めて考えることもなく、どこか無関心で日々が過ぎていたように思います。こんな私に声をかけてくださり更生保護女性会という組織があることを知りました。犯罪にかかわったり、その為に苦しい思いをしている人がたくさんいる中で、それを受け入れてくれる社会があることを忘れてはいけないということ学びました。そして、そこに繋げていくことが私の仕事かなと思いましたが、罪を犯した人もそれに寄り添っていく人も同じ社会で生きていくわけですから、お互いに理解しあって立ち直っていけるように支えていかなければならないと思います。こんなおぼちゃんでも出

来る事はあるはずですが、まず挨拶をしつかりして社会の目となって見守っていきます。できることからコツコツとですね。

中堅会員研修会に参加して

近江八幡地区 西川 敦子

「あたりまえにある居場所」と題して、NPO法人 IrisSeed (アイリスシード) 代表岩田大輔氏のご講演を聴かせていただきました。幼少期から父親の虐待を受けて育ち、非行行為を繰り返し、鑑別所や更生施設等に入るといふ壮絶な生き方をされました。「Iris」とは、花のアイリスです。花言葉は、信念・希望。「Seed」は種(きっかけ)です。希望をもたらず存在でありたいと願い、困ったときにいつでも相談できる、お腹が空いたらいつでもどこでも食べられる、親の暴力から守ってくれ、そんな夢の居場所を実現すべく日々活動されています。



最後に言われた「縁はやおら形をなしていく」という言葉が心に残りました。いろいろな人との出会いがご縁となつて繋がっていくということでしょう。人を信じること

の大切さ、あきらめずに関わっていくことの大切さを教えていただきました。

日帰り研修に参加して

湖南地区 園田 礼子

残暑の厳しい9月24日、県更女の日帰り研修に参加しました。午前中は、大阪水上バスアクアライナーを楽しみました。大阪城公園で乗船し、ガラス張りの船内から大阪城や中之島公会堂、造幣局などの名所旧跡を川から眺めることができ、ゆったりとした時間を過ごしました。



大阪水上バス アクアライナー



裁判所の全景

午後からは大阪高等裁判所を見学しました。最初に法廷の様子や裁判を傍聴する注意事項を聞き、実際の裁判を傍聴するため多くの裁判をされている法廷の中の一つに入りました。静まり返り張り詰めた空気の中で私も緊張しました。容疑者のご家族のことを思うと胸が苦しくなりました。罪を償って更生して欲しいと心から願いました。今回の日帰り研修に参加し貴重な体験をさせて頂き私にとって心に残る一日となりました。

令和7年度滋賀県更生保護女性連盟役員名簿

県連盟では事業を推進するため、総務・研修・渉外の3部制をもうけています。

役職	地区名	氏名	所属部	会員数	役職	地区名	氏名	所属部	会員数
会長	守山	上路美智代			理事	甲賀	渡邊 満栄	総務	805
副会長	甲賀	辻 好子	渉外		理事	湖南	服部ひろみ	渉外	103
副会長	高島	嶋崎ひな子	研修		理事	近江八幡	市川 純代	渉外	244
副会長	米原	北村 和子	総務		理事	日野	奥野 禮子	研修	76
常務理事	守山	今井みつ子	渉外	124	理事	東近江	櫻 直美	総務	311
常務理事	彦根	辻 八寿子	研修		理事	愛荘	堀内恵美子	渉外	32
常務理事	長浜	高橋 律子	総務		理事	彦根	杉原 敏子	総務	141
理事	大津	増渕 昭子	研修	432	理事	犬上	上野 初子	研修	52
理事	高島	上原 里子	渉外	175	理事	長浜	傍島 伸子	研修	380
理事	草津	中村 敏枝	渉外	300	理事	米原	山本百合子	研修	139
理事	栗東	田村由美子	総務	68	監事	大津	小島 和代		
理事	野洲	田中 恵子	総務	105	監事	野洲	井狩二三江		
								会員合計	3,487

令和7年度 事業報告

年月日	事業名	会場名	年月日	事業名	会場名
令和7年4月9日	常務理事会	大津保護観察所	10月 1日	第54回近畿更生保護女性会員研究協議会	大阪 ホテル京阪
4月 9日	会計監査	大津保護観察所	10月22~23日	更生保護女性会員中央研修	アルカディア市ヶ谷
4月23日	理事会	大津保護観察所	10月23日	更生保護事業関係者顕彰式典	ピアザ淡海
5月27日	リーダー研修会	大津びわ湖合同庁舎	10月30日	常務理事会・理事会	大津保護観察所
6月10日	第62回日本更生保護女性の集い	アルカディア市ヶ谷	11月25日	新会員研修	大津びわ湖合同庁舎
7月	第75回“社会を明るくする運動”強調月間	全県下	11月28日	組織強化研修	更生保護会館
7月	模擬ケース検討会・ミニ集会	各地区	12月 5日	常務理事会・理事会	大津保護観察所
8月27日	常務理事会・理事会	大津保護観察所	12月10日	中堅会員研修会	大津びわ湖合同庁舎
9月10日	第3ブロック研究協議会	ひこね市文化プラザ	令和8年1月	前進座観劇	京都劇場
9月12日	第4ブロック研究協議会	近江学びあいステーション	2月26日	常務理事会	大津保護観察所
9月17日	第1ブロック研究協議会	大津びわ湖合同庁舎	3月 1日	「鳴の湖」24号発行	
9月19日	第2ブロック研究協議会	甲賀市碧水ホール	3月18日	理事会(予定)	大津保護観察所
9月24日	日帰り研修	大阪高等裁判所			

各種団体等の行事に随時出席

今年度名称を改めた「模擬ケース検討会」やブロック研究協議会全ての事業を無事終えることができました。会員の皆様のご協力とご支援にお礼申し上げます。令和8年度も会員同士のつながりと地域に根ざした活動を展開していきたいと思っております。

「鳴の湖」第24号発行に際し、ご寄稿いただきました皆様に心よりお礼申し上げます。

(総務部一同)

編集後記

チケットの販売手数料を活動資金に充当しています。参加してくださった皆様、ありがとうございます。



資金造成事業
前進座観劇